

社会福祉法人 幸府福祉会 ～一人ひとりを大切に～

2021. 10

28号

社会福祉法人 幸府福祉会  
<http://saifu-fukushikai.com>  
法人本部事務局  
福岡県太宰府市大佐野761-1  
発行責任者：草本武俊  
編集委員会

# わかたけ



やまもも余暇活動の近隣散策

那珂川市にある日吉神社  
輪越し(茅の輪くぐり)

## 目次

- 2～5 ページ チャレンジ！ We can do it !
- 6 ページ 委員会活動報告～研修委員会～  
太宰府市との協定（福祉避難所）
- 7 ページ 商品紹介～来年の干支～  
求人募集について
- 8 ページ 幸府福祉会ってどんなところ？ 第4回

## 法人本部

～経費削減に向けての取組みについて～

### 経費削減と業務効率化

法人本部として、経費削減だけではなく業務効率化につながるような取組みについて考えた結果、毎月の会計処理に伴う業務の見直しを行いました。

出力する用紙の多さと業務の正確性が比例しているのかを検討し、法人独自のチェック様式の作成を行うことで、チェックポイントの把握ができ、残額の確認と根拠を会計チェック時に活用できるようにしました。

以前は、確認資料の出力で大量の用紙が印刷されている状況でしたが、新様式への入力と画面上での確認作業が行えるようにしたことで、昨年と比較すると、用紙は1年間



で約5,000枚の削減となり、同時に複合機のカウント数も削減となる見込みです。

### 5,000カウント数の削減に成功

実際にカウント数の変化を「見える化」するため、前年度との比較表を作成し、本部職員間で回覧をし、経費削減の意識づけを行っています。

実際に今年度の6月～7月で約5,000のカウント数削減に結びついています。この削減は、出力資料の減少と出力方法の見直しによるものです。

また、単なるコストの削減に留まるのではなく、ミスの削減や振り返りに繋がり、調べなおす手間が削減されることにより、業務の効率化にも結び付いています。

今後も、限りある財源を有意義に活用するため、無駄の見直しを行っていきます。



(法人本部事務員 佐藤)

### 業務効率と安全面の課題

やまもの就労継続支援B型では、T社の整理整頓術を参考にした5S活動を実施しています。今までの作業場は、作業に必要な道具がたくさん置いてあり、物を探して取り出すのに時間がかかっていました。さらに、物が多いので通路が狭くなり、すれ違う時にぶつかってしまうなど、安全面にも課題がありました。

「必要な物を、必要な時に、必要なだけ取り出すための環境」を作るため、T社の整理整頓術を参考にして、3つのことを重点的に実践しました。

### T社流整理整頓術の3つのポイント

1つ目は、使用頻度で物の置き場を変えました。優先順位をつけ、必要のないものは作業場に置かないようにしました。毎日使う物、週に1回使う物、月に1回使う物、というように一つひとつ選別し、使用頻度が高いものはすぐに取り出せる位置に置くようにしました。そうすることで、作業効率が大幅にアップしました。

2つ目は、所番地を決めて物の見える化を行いました。棚の格段に「A-1」などの番地シールを貼りました。その番地に何を置くかを決め、リストを作成しました。何がどこにあるのが明確化され、物を探す時間を減らすことができました。以前のように、物を積み上げるような保管をしなくなったため、取り出すことも容易になりました。



3つ目は、区画線を引き、物をはみ出さないようにしました。物を置いて良い場所を限定し、テープで線引きをしました。その場所以外に物を置かないようにルール化したため、物が溢れることがなくなりました。台車などの必要な道具を置く場所もテープで線引きをして、いつも同じ場所に片付けられるようになりました。予期せぬところに物があるということがなくなったので、歩行時の安全性が確保され、転倒などのリスクが大幅に減少しました。



## やまもも

～T社の整理整頓術を参考に5S活動～



### 生まれ変わった作業室

5S活動は様々な「ムダ」をなくし、効率化され、安全性の向上も期待できます。今後も安全で清潔な施設を目指して、利用者の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

(やまもも職業指導員 稲永)





## 新しい生活様式に合わせた活動の改革

一年半前コロナによる通所と入所の完全分離することにより、新しい通所の生活介護の生活スタイルが始まりました。そして、令和3年度より今まで中心にしていた“作業”をなくして“活動”に置き換えました。そんな大変革の中、一週間のプログラムを5つの視点を通して考え進めています。

- ① 曜日毎に同じ内容を盛り込み見通し取りやすい一ヵ月プログラムにする
- ② 運動不足なので体を使った活動を盛り込む
- ③ 金曜日は振り返りとリラックス活動を行い週末を意識づけし一週間のリズムをつける
- ④ 利用者が活動内で選択できる場面設ける
- ⑤ 主体的に参加できる工夫を行い、参加を自由参加とする(促しは行方)

→ここで生まれた活動が、運動大会・歌って踊ろう・レクリエーション・園芸・振り返りと手浴足浴という活動です。



## 宰府園

～通所生活介護活動の変化について～



### ＜活動の一例:園芸活動の内容＞

園芸活動では、土入れ、種まき、などそれに関わる内容を全て活動にしています。活動を切り取って“やらせる”のではなく最初から最後まですることで何をしているのかと理解へつなぎ、〇〇するためには××が必要など、活動に流れをもたせています。そして園芸活動を中心とした「写真での振り返り」をしています。テレビを使い視覚的に行い「こんなことしたね」「給食に入れた大葉がおいしかったね」「今度はトマトが食べられるかな？オクラができたらどうしようか？」など話題が盛り上がりました。

「過去→現在→未来」と部分的とはいえ振り返りの活動をすることで、オクラができたら切って食べるとジェスチャーをする方、トマトができたら食べたいと手を挙げた方など、未来を期待して今の活動へつなげることが出来ました。

私たちも同じですが、楽しい未来があるから、今を頑張れます。生活の手応えを感じられる活動を今後も考え進めていきたいと思ひます。

(宰府園生活支援員 鶴留)



## すみれ園

～マスク着用への取り組みについて～



### マスクを身近なものに

マスクを着用することが求められる現在、すみれ園のお子さんがどうやったらマスクに少しでも興味を持ってくれるのかな…と職員同士で話を行い、園の中で出来る取り組みを考えていきました。

マスク着用が難しいお子さんがたくさんいらっしゃる中で、まずはマスクを持ってきてもらうようご協力を頂きながら、マスクを身近なものに感じられるよう取り組みを行ってきました。

### 興味をもってもらおう

一つ目に保育の中では、『こんこんくしゃん』のペーパークラフト(お話し)と『こんこんくしゃん』の手遊びを活動の中に取り入れています。お話しの回数を重ねるごとにお子さんたちの気持ちや視線の向け方も変わってきており、おはなしを通してのマスクへの興味関心もお子さんによっては少しずつ広がってきたように思います。その他にも実際に人形にマスクをつけてみたり、お子さんそれぞれのマスクを持ち、お友だちのマスクと一緒にだねと話しをしながらマスクに触る経験、お友だちとのやりとりも行っています。



### 喜びに繋がるように

二つ目にバスに乗るからマスクを着けることの誘い掛けが分かりやすく、バス内指導の一環としてもマスク着用への取り組みを行いました。まずは短時間でもいいのでマスクに触れる(手に取る)ことを目標としていきました。お友だちがしているところを見たり、少しずつマスクに触れるようになったお子さんは短時間でもつけることへとスモールステップを踏んでいきました。マスクに挑戦したり、自分で手に取って触ってみようとするお子さんの気持ちをたくさん褒めることで、お子さん自身の自信であったり”お父さん、お母さん、先生が褒めてくれる”という喜びに繋がっていきやすいよう関わっています。

今後もバス内、園舎内では換気を行うとともに、特にバスでは密になりやすい環境の中なので、マスク着用の経験を積んでいき、就学にも繋げていきたいと思っています。

(すみれ園保育士 町田)

### 「毎日食べても飽きの来ないパン」を目指して

ゆり工房は「毎日食べても飽きのこないパン」という目標を掲げ、開所以来、約20年間お客様に喜んでいただけるパンを追及してきました。

初めは利用者・職員合わせても10人に満たない人数でしたが、徐々に利用者・職員も増え、今では利用者だけで18名と、ゆり工房で一番人数の多い作業部門になりました。

年を経るごとにパンの種類も増えていき、今では約50種類のパンを多い時で一日500個作る事もあります。

「毎日食べても飽きのこないパン」を追及し続け、地域の人からも好評を頂いております。しかし、美味しい物があふれ、飽食の時代と言われる今、ずっと変わらず同じ物を作り続けるだけでなく、お客様に喜んでいただけるようにより良い物を提供したい、そのためには、新しい挑戦をしなければいけないと思っていました。



## ゆり工房

～パン作業の大幅リニューアル～



### 品質の安定・増産、さらに食品ロスも削減

そんな矢先、大手企業でパンの商品開発やインストラクターをされていた方がゆり工房の職員として入職された事をきっかけに生地や製造工程を見直し、パンの大幅リニューアルを行う事が決まりました。

これまでご好評頂いていた人気商品は残しつつも、今までゆり工房にはなかったパンやお菓子を新たに商品化し、お客様に喜んでもらう事はもちろん、品質の安定と増産、そして作業効率をあげる事で利用者さんへのよりよい支援を目指せると考えております。

また、実際の支援だけにとどまらず、食品ロスを減らし材料費の削減と、パン製造の時間を短縮する事でお菓子の製造数や種類を増やし、今までは対応できなかった大口注文やギフト販売を行い、お客様のニーズに応え、利用者の皆さんの働く喜びと工賃へ還元できるように職員一丸となって邁進したいと考えております。

(ゆり工房生活支援員 野上) 4



## 季節を感じながら食事を楽しめる工夫を

新型コロナウイルスの流行で外出が制限される中、幸府園では毎月の食事アンケートや嗜好調査、利用者と直接お話を聞かせていただきながら、それぞれの思いやニーズを把握し食事を通して企画や献立の工夫を行っています。

4月頃、「お花見がしたい」「桜の花をみたい」などといった声が沢山あがりました。食事を楽しめるような空間づくりをしました。利用者の方も大変喜ばれており、ただ“食べる”だけでなく五感を感じながら園内でも、季節を感じることができたのではないかと思います。

今年は、平年より気温が高い日が続き、秋の訪れはまだ先の方になりそうですが、気温が下がると山々が鮮やかに彩られ美しい景色が各地で見られると思います。

給食職員とともに、11月は紅葉狩り弁当を企画しております。秋を楽しめるお弁当の内容を考えながら、利用者の方がどういう反応をしてくださるのか今から考えるだけでもワクワクします。

これからも利用者により添いながら、自身も食事作りを楽しみ、美味しく味わえる環境づくりを職員全体で考え取り組んでいけたらいいと思います。

(幸府園栄養士 二宮)



## 「食」の取り組み



## すみれ園の給食で大事にしていること

「食」は生きていく上で大切なことです。お腹を満たすだけでなく、乳・幼児期は味覚や嗜好に関わる大事な時期です。すみれ園では、子どもたちが「みんなと一緒に食べると楽しい、美味しい」と感じてもらえることを大切に、一人一人の食事提供に取り組んでいます。

偏食のあるお子さんは ①食材の色や形状 ②温度や食感 ③食事の環境を考え、給食作りに反映しています。素材の味や形を活かす献立やカリカリ食感の内容を取り入れています。また食材との結びつきを分かりやすくするためにゼリーの上に果物をのせて示しています。

他にも、栄養カンファレンス会議を月に1回実施しています。栄養士・児発管・各クラスの保育士が参加し、お子さんの食事の情報共有や味付け・食材の切り方・硬さについて話し合い、今後の給食の改善につなげています。お子さんが給食でよく食べていた献立については、給食日よりレシピ紹介を行い、ご家庭での食事にもつなげていただくきっかけになればと考えています。今後も調理法や盛り付けなどの工夫をし、お子さんと一緒に楽しい食事を行ってまいります。

(すみれ園栄養士 合原)



皆様、感染症への対策にずいぶん取り組まれていることと思います。また今後は寒くなるにつれインフルエンザも流行し始めます。感染症の予防の基本は

①手洗い ②うがい ③マスク着用です。コロナウイルス同様に密を避けたり、こまめに換気したり、消毒したりと環境づくりが大切です。またワクチン接種は予防と重症化を防ぐため、接種をおすすめします。



感染症を  
予防しましょう!



また熱がある時は病院に行く前に、電話でいつ受診したらいいのか確認して行きましょう。

秋は「食欲、スポーツの秋」というように美味しいもの食べ、身体を動かし、ゆっくり睡眠をとり、日頃から抵抗力をつけ、感染症に負けないからだづくりをしましょう。

(幸府園看護師 吉福)

# ～ 研 修 委 員 会 ～

## ～ 法 人 研 修 会 ～

### 職員70名以上での大規模事例研究会

8月28日(土)に、前期法人研修会が開催されました。コロナ禍のリモート研修もすっかり定着し、今回も本部と各拠点をつないでのリモート研修会となりました。

今回のテーマは「現場の実践力を高める」。参加職員全員がこのテーマが響く企画、内容とはどんなものか、委員が中心となって考えました。結果、事例研究をすることになりました。それぞれの事業所から、支援に困ったり、迷ったりしている事例、解決の糸口が見つからない案件など、支援者が抱えている課題を「事例研究」という形で検討することにしました。事例を挙げた職員から概要が発表された後、他の職員で情報を共有、事例に挙げた当事者の気持ちを想像し、利用者さん

の立場に立ちます。その上で、今、困っていることが改善の方向に向かうにはどんな方法があるかを考えました。事例提供者はもちろん、利用者さんについて「どんな気持ちだろう」「真のニーズは何だろう」「この先どうなるのかな」など職員みんなが心を寄せることに意義があったと感じます。職種や資格が異なれば視点が変わります。自分だけで悩んだり考えたりしていた狭い世界が、パッと開けることもあります。気づきが得られることも事例研究の醍醐味です。

法人としては、初の試みでしたが、今後も事例研究の機会をつくり、利用者支援についてみんなで考え、福祉サービスの向上を目指していきたいと思います。

(研修委員長 大内田)



## 太宰府市との協定 (福祉避難所)

9月22日(水)、太宰府市と「災害時における福祉避難所に関する協定」を締結いたしました。

福祉避難所とは、災害発生時において一般の避難所での生活が困難と判断される、高齢者や障がいのある人、乳幼児などとその家族または介助者を受け入れ、避難された方が安心して生活するための避難所です。この度当法人の「障害者支援施設宰府園」と「児童発達支援センターすみれ園」が指定されました。



# 来年の干支 予約開始

## 宰府園



単品：400円 5色セット：2,000円  
(45×45×65mm)



単品：1,000円 5色セット：5,000円  
(45×140×78mm)

※価格は全て税込になります。

度重なる禍（わざわい）や困難をも飛躍台にして、一つひとつを前向きに乗り越えていきたいとの願いを込めて作成した干支（寅）の置物です。

## ゆり工房

(宰府園 ☎092-925-7200)



800円 (55×125×90mm)

※価格は税込になります。

※やまももは製作中です。もうしばらくお待ちください。

かまぼこのような形のまんまるとした形になっております。今回は木目が分かるシンプルなものと同色つきの2種類。

(ゆり工房 ☎092-575-2223)

数に限りがございますので、ご予約はお早めに！



## 求人募集について

9月28日(火)、福岡県主催の「福岡県ウェブ合同会社説明会」に参加いたしました。

令和4年3月大学等卒業予定者と、UI/ターン就職を目指す福岡県外の求職者を対象にプレゼンテーションを行いました。当日配信した動画は、法人のHPから視聴いただけます。ぜひご覧ください

求職者向け 職場説明会 動画配信中



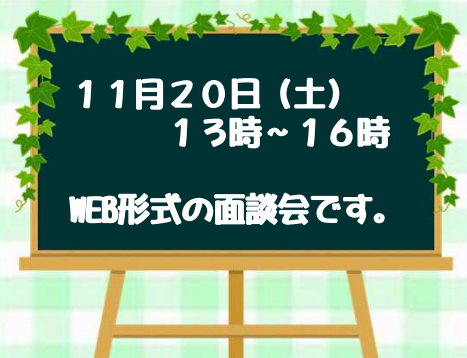
保育士・支援員募集!!



福祉のお仕事に興味のある方へ耳寄りな情報です。

『令和3年度 福祉のしごと就職フェア in FUKUOKA』  
《WEB面談会》  
参加決定！

ご興味のある方はぜひエントリーください。



詳細は、決まり次第、法人HPでご案内いたします。

# 宰府福祉会って、どんなところ？

ライフステージに応じた法人内サービスをシリーズでお伝えします。

幼児期（～6歳）

学齢期（6～18歳）

成人期（18歳～）

「わかたけ25号」掲載 Vol.1

「わかたけ26号」掲載 Vol.2



【児童発達支援】 すみれ園  
【保育所等訪問】 すみれ園  
【受託事業】 にじいるキッズ  
(那珂川市障害センター)

【放課後デイ】 すみれ園 たんぼルーム  
【受託事業】 つくしんぼルーム  
(大宰府特別支援学校放課後等支援事業)

【受託事業】 障害児等療育支援事業  
(福岡県受託事業)

計画  
相談

●相談系サービス  
【計画相談・障がい児相談】 やまもも・すみれ園相談支援センター

住む

●居住系サービス  
【施設入所支援】 宰府園  
【グループホーム】 GHやまもも・アンダンテ・春日ホーム  
【短期入所】 宰府園・GHやまもも

働く

●就労系サービス  
【就労継続B型】 宰府園・やまもも・ゆり工房（受託）  
【福祉的一般就労】 さぼーと春日 **「わかたけ28号」掲載 Vol.4**

活動

●日中活動系サービス  
【生活介護】 宰府園・やまもも・ゆり工房（受託）・にじ（受託）  
【日中一時】 宰府園・やまもも・ゆり工房（受託）

訓練

●訓練系サービス  
【就労移行】 ゆり工房（受託）  
【自立訓練】 にじ（受託） **「わかたけ27号」掲載 Vol.3**

訪問

●訪問系サービス  
【居宅介護・同行援護・移動支援】 宰府園在宅サービス

## 第4回 「就労系サービス（就労継続支援B型事業・福祉的一般就労）」

成人期（18歳～） 働く

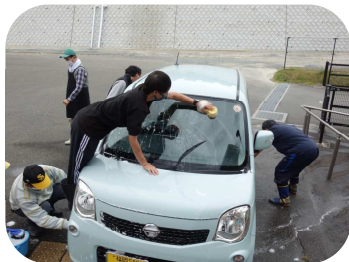


### 就労継続支援B型事業とは

障がいのある方が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるように就労の機会を提供し、生産活動・その他の活動の機会の提供を通して、その知識・技能の向上のために必要な訓練などを適切かつ効果的に行う事業です。  
事業所によって、特色がありますので、今回はその紹介をします。

### 宰府園

宰府園では、木工商品づくりやネジ作業を中心に、洗車作業・園芸作業（畑、花壇等）を定期的に行っています。利用者の皆さんがやりがいを持って作業に取り組みながら社会性を身につけ工賃アップにつなげていけるよう日々励んでいます。



### やまもも

やまももでは、企業の下請け作業（贈答品の検品や組み立て、自動車部品の組み立てなど）を中心に作業を行っています。また、工賃を使う楽しみを働く意欲につなげていくため、買い物活動なども行っています。



### ゆり工房

ゆり工房では、パン・木工・ゆめ（軽作業）の3つの部門に分かれて作業を行っています。

パン部門では、パン・洋菓子の製造。木工部門では、白木の玩具を作成。ゆめ（軽作業）部門では、ビーズ・さをり織り商品を作成しています。



### 就労支援事業 さぼーと春日とは

春日市の公共施設の清掃業務を中心に、必要な配慮等を受け、働くことのできる障がい・高齢者等の一般雇用の場です。

障がいがあっても高齢であっても一般就労で働きたいという思いを大切に、安心して働けるように専属職員がサポートしています。春日市の公共施設の清掃業務を中心に、仕事を体験してみたい方の実習の受け入れ等も行っています。

現在、10名の方が所属していて自分らしく誇りを持って働かれています。



### 『編集後記』

先日、家族で次男の七五三のお参りに行ってきました。

七五三というと“袴”ですが、我が家は父親が七五三で履いていた袴がきれいな状態で残っていたため、長男そして次男へと受け継ぐことができました。

少し古い型ではあるものの味があり、慣れない足袋に足元をもたつかせながら歩く後ろ姿に成長を感じました。

（広報委員 内園）